

【愛知初】

新建材・集成材・合板・輸入材・ビニールクロスを使わない家づくり

空気がうまい家[®] 構造見学会

6.17sat 18sun 【愛知県豊橋市植田町にて開催】

ぜひ見学会でお確かめください

- 1 新建材・集成材・合板・輸入材・
ビニールクロスを使わないのはなぜ？
- 2 「空気がうまい家[®]」には、
どんな木材が使われている？
- 3 一般的な乾燥木材(KD材)と
空気がうまい家の「音響熟成[®]木材」は何が違う？
- 4 厚さ38mm「音響熟成[®]木材
うづくりフローリング材」の実際の感触は？
- 5 一般的な木造住宅と
「空気がうまい家[®]」の構造の違いは？
- 6 屋根の構造は？ 7 施工中の室内の
空気・においは？
- 8 シックハウス対策は？
- 9 一般的な漆喰と
「幻の漆喰[®]」の違いは？ 10 省エネ対策は？
- 11 地震や火災は大丈夫？
- 12 住む人の健康と家は関係がある？

そのほか、
気になることはなんでも
お聞きください！



※写真は施工例で、今回の物件とは異なります。

●お問い合わせはお気軽に

(株)野川建設 TEL 0532-48-8221

「空気がうまい家® 構造見学会」見どころは●コチラ!

● 新建材・集成材・合板・輸入材・ビニールクロスを使用しない家づくりをチェック

大工の
職人技です



私たちの家づくりには、誇りと技術と愛情があります。だからこそ、ぜひみなさまに「ハダカの住まい」を実際にご覧頂きたいと思ひます。

家づくりで大切なことは、家の骨格となる「構造」と骨格をつくる「素材」の質です。完成後は確かめられない、家づくりの根本的な技術や工夫、木材の質や使い方などをその目でしっかりお確かめください。

● 木の命が生きている「音響熟成®木材」を使っています。

「音響熟成木材」とは・・・!?

南九州産の杉を、クラシック音楽を聴かせながら時をかけてじっくりと常温で音響熟成したこだわりの木材です。木が本来持っている油分やエキスが残り、防菌・防カビなどの作用に加え、人間の免疫力をアップする働きがあるとされています。

ぜひ触れて
みてください



心地いい肌ざわりと森のような香り

木の命が生きた「音響熟成木材」は、時間が経つほどその味わいが出てきます。肌ざわりはやわらかでほのかなぬくもりがあり、すがすがしい香りが心と体をリラックスさせてくれます。床材は木目をいかした「うづくり仕様」で、足ウラを心地よく刺激します。



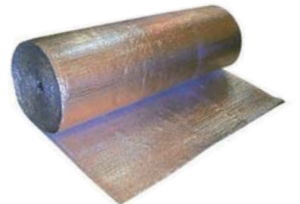
音響熟成木材の
構造材をぜひ
お確かめください

※写真は施工例で、今回の物件とは異なります。



遮熱工法で安心の快適住空間を実現

宇宙産業から生まれた超薄型高遮熱材「リフレクティックス」使用
超薄型高遮熱材「リフレクティックス」は、両面の高純度アルミ箔に、2枚のバブルポリエチレンシートと3枚のポリエチレンシートが内蔵された7層構造で、最先端プラズマ方式により接着剤ゼロ。夏は室内の冷気を保ち、冬は暖気を逃がさず、省エネ・節電・CO2削減にも効果があります。カビ・結露対策に加え、電磁波対策にも有効です。



さらに「幻の漆喰®」と「清活畳®」で住むほどに心地いい健康住宅が完成します!



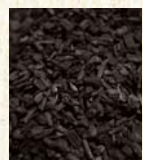
「空気がうまい家®」施工例

住まいの
素顔を知る



「幻の漆喰®」

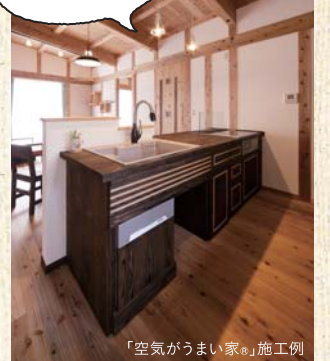
有明海の赤貝などを使った完全天然素材の壁材。光と熱に反応する「光熱触媒」作用を持ち、半永久的に室内の化学物質や有害物質を「吸着・分解」し、住空間の空気を浄化。ホコリも減り、お掃除もラクになります。



「清活畳®」

6畳2間でなんとドラム缶1本分の竹炭が入った「清活畳(せいかつたたみ)」。竹炭は、化学物質を吸着する能力が備長炭よりも優れるとされています。い草の爽やかな香り・肌ざわりと、そのすがすがしさをご体感ください。

手づくり
キッチンも!



「空気がうまい家®」施工例

空気がうまい家® 構造見学会

6月17日(土) 18日(日) ●時間 10:00~16:00 ●会場はこちらです👉

場所が分かりづらい場合は、下記までお気軽にお電話ください

株式会社 野川建設 TEL0532-48-8221 野川建設 |Q

●〒441-8113 愛知県豊橋市西幸町字浜池13-1 ●FAX 0532-48-8233 ●WEBサイト <http://nogawa-ken.co.jp/>

KAIKEN CORPORATION 商標登録「幻の漆喰」登録第4739347号取得「音響熟成木材」登録第4739348号取得「清活畳」登録第4827042号取得



〒441-8134 愛知県豊橋市植田町一本木116-130